

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

清掃車(強力吸引車)

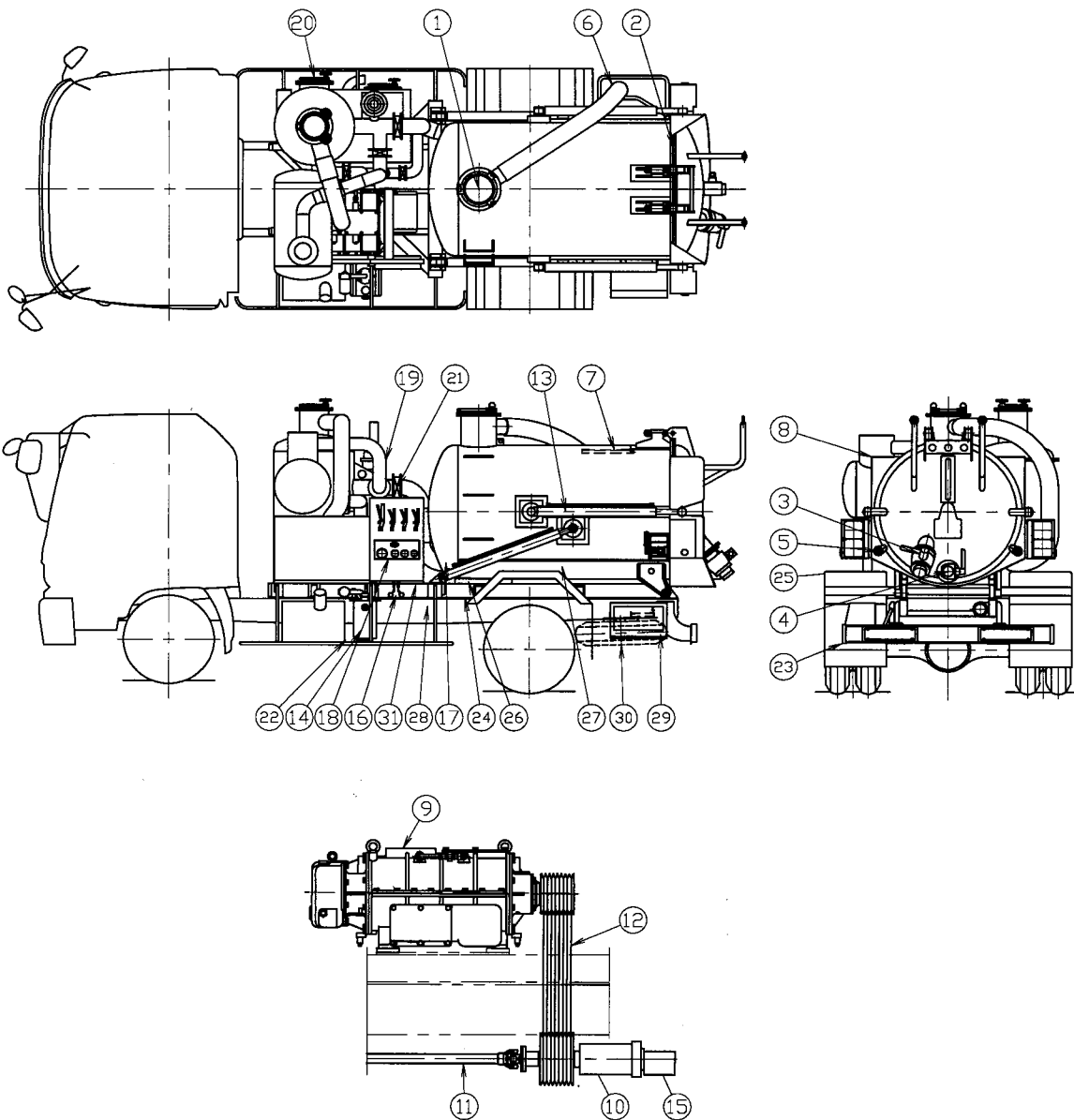
1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル(株式会社モリタエコノス 共通編)」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

内 容

1. 強力吸引車架装物の構造概要図
2. 強力吸引車架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

株式会社 モリタエコノス

1. 強力吸引車架装物の構造概要図

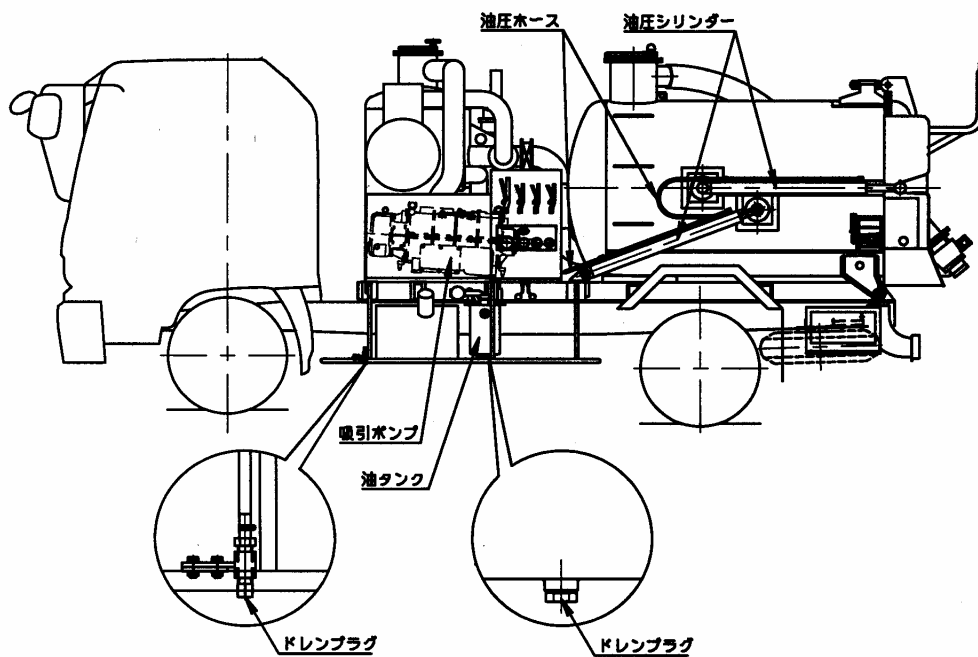
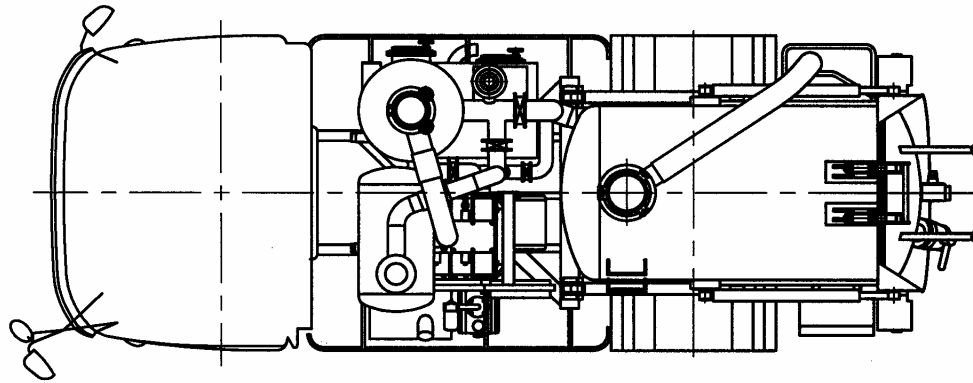


品目番号	品目名	品目番号	品目名	品目番号	品目名
1	主マンホール	13	油圧シリンダー	25	フェンダー
2	ハッチリング	14	オイルタンク	26	タンク台
3	吸引コック	15	油圧ポンプ	27	吸管受
4	排出コック	16	油圧切替弁	28	締結具
5	後部扉ロック装置	17	油圧ホース	29	外装部品
6	吸気ホース	18	操作盤	30	スペアタイヤキャリア
7	衝突板	19	空気配管	31	ワイヤコントロール
8	ハッチカバー	20	掃除口		
9	真空ポンプ	21	バルブ(切替用)		
10	軸受け	22	バルブ(ドレン)		
11	駆動伝達ジョイント	23	リヤバンパー		
12	駆動伝達Vベルト	24	敷き板		

2. 強力吸引車架装物の解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理	タンク内積載物の残物の洗浄、清掃処理を専門業者にて実施する。	
	事前処理	真空ポンプ及び油圧シリンダー、オイルタンク等の油を抜き取り、廃油は専門業者にて処理する。	[油量] 小・中型は約30L 大型は約40L
	事前処理	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体	架装物	締結具等のボルトを取り外し、シャーシと架装物を切り離します。	シャーシ側とつながっている伝達ジョイントを切り離す。
架装物	タンク本体	溶断、切断等により、裁断し材料により分別します。	
架装物	セパレータ本体	同上	ドレン等から残液を抜く。
架装物	水切装置本体	同上	ドレン等から残液を抜く。
架装物	サブフレーム本体	同上	
1	主マンホール	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
2	ハッチOリング	取り外し、ゴム類に分別します。	
3	吸引コック	金属とゴム類に分別します。	
4	排出コック	同上	
5	後部扉ロック装置	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
6	吸気ホース	金属とゴム類に分別します。	
7	衝突板	同上	
8	ハッチカバー	同上	
9	真空ポンプ	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	ドレン等から残液を抜く。
10	軸受け	金属とゴム類に分別します。	
11	駆動伝達ジョイント	取り外し、分別します。	
12	駆動伝達Vベルト	同上	
13	油圧シリンダー	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	取り外して、油を抜く。
14	オイルタンク	同上	ドレンから油を抜く。
15	油圧ポンプ	金属とゴム類に分別します。	取り外して、油を抜く。
16	油圧切替弁	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	取り外して、油を抜く。
17	油圧ホース	金属とゴム類に分別します。	取り外して、油を抜く。
18	操作盤	金属とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別します。	
19	空気配管	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
20	掃除口	金属とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別します。	
21	バルブ(切替用)	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
22	バルブ(ドレン)	同上	
23	リヤバンパー	同上	
24	敷き板	同上	
25	フェンダー	同上	
26	タンク台	金属と樹脂類に分別します。	
27	吸管受	取り外し、分別します。	
28	締結具	同上	
29	外装部品	同上	
30	スベアタイヤキャリア	同上	
31	ワイヤコントロール	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	

事前処理 図



油圧ホース	取り外してから油を抜き取る。
油圧シリンダ	
吸引ポンプ	ドレンプラグを取り外し、油を抜き取る。
オイルタンク	

3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項等ございましたら、
下記までお願いいたします。

株式会社モリタエコノス 技術開発部

TEL 0729 - 95 - 0615

以上